

施策番号 3-1-2	施策名 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展	基本目標	誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり		
		政策名	いつまでも健康で安心して暮らせる保健医療環境づくり		
	主管課	公立芽室病院	課長名	西科 純	内線 62-2811(電話)
	施策関係課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針	対象	意図					結果
公立芽室病院が地域包括ケアシステムの中核施設として、また、「地域住民にとって不可欠な病院」として診療機能の充実を図り、町民の理解を経ながら病院づくりをすすめます。	公立芽室病院	持続可能な診療機能体制の構築と経営基盤の強化					質の高い医療の提供
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標
① 患者数(外来)	病院決算状況	人/年	74,477	61,506	50,206	65,061	70,000
② 患者数(訪問診療)	病院決算状況	人/年	50	168	170	170	150
③							
④							
成果指標設定の考え方	①患者数(外来): “かかりつけ医”の病院機能を伸長し、内科・総合診療科を中心に患者数増加を見込み設定 ②患者数(訪問診療): 自宅での看取り希望のニーズ(70%)を踏まえつつ、当院体制を鑑み設定						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費(千円)	1,802,972	1,716,934	1,778,766
人工数(業務量)	6.3674	7.3747	9.0334

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input checked="" type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	新型コロナウイルス感染症の流行状況に合わせた独自のフェーズで区分し、対応したことや、2度の院内集団感染に伴う外来等の停止が低下した大きな要因である。
②2022年度の目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	今後も新型コロナウイルスの影響は続くことが予想され、患者数の回復は、非常に厳しい状況ではある。しかし、新型コロナウイルス感染症に伴う国・道補助金の活用で感染対策の徹底、継続した医療提供や、経営コンサルの指導・助言を受けて、コロナ禍での収入の維持、終息を見据えた経営安定化を進めることで可能である。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	病院職員任免事務 医薬材料等購入事業 医療機器等整備事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	病院職員任免事務⇒新人看護師採用による平均年齢の低下、理学療法士2名・作業療法士1名を採用し、リハビリ部門の強化を図れた。 医薬材料等購入事業⇒患者数の減少で医薬品の購入費用は減少したが、感染対策用の診療材料、PCR検査用の診療材料を多く購入し、発熱外来や、保健所の指示によるPCR検査を行った。 医療機器等整備事業⇒新型コロナウイルス感染症に伴う補助金を活用し、感染対策に対応する医療機器等を購入し、PCR検査体制の整備、医療サービスの強化、安全・安心な医療体制を図った。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した
- C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した
- D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した
- E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	道内、管内の新型コロナウイルス感染状況が日々変わる中で、十勝圏の患者や町民の健康を守るため、感染対策を徹底し、持続可能な医療の提供が必要である。 さらに、コロナ終息を見据えた経営改革や、帯広市に専門的な医療を提供する医療機関が存在する中で診療科選定が必要となってくる。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	町民に病院を身近に感じてもらうことをコンセプトに実施する病院まつりや住民フォーラムは、2020年度は感染対策の徹底が困難であると判断し、開催を中止したが、2019年度の集客数を見ても、町民からの期待は大きいと判断しているところである。 議会厚生文教常任委員会に情報提供を図り、数字だけではなく当院が置かれている状況や、取り組みを理解いただいていると判断している。

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

経営コンサルを導入し、経営改革にむけて、職員一丸となって取り組んでいるが、成果指標の向上には至っていないばかりか、新型コロナウイルス感染症の影響は顕著である。2度の集団感染の経験を踏まえ、継続した医療を提供するために、病院職員の休日も含めた健康確認、徹底した感染対策(正面玄関でのトリージ、施設の消毒、感染対策研修会等)、定期的なPCR検査等を行っている。さらにコロナ入院患者の受入れ、濃厚接触者へのPCR行政検査(帯広保健所の指示を受けて)、コロナワクチン接種には、医療職として使命感を持って対応している。 令和3年度は、アクションプラン8(①コロナ感染対策、②院内ガバナンスの確立、③地域包括ケアシステムの強化、④病院職員の経営意識の醸成と推進、⑤住民向け企画事業の推進、⑥電子カルテシステムの更新、⑦労働環境の整備、⑧運営体制の検討)に基づき経営改革を取り進める。
--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標は低下しているものの、コロナ禍において「地域住民にとって不可欠な病院」と評価されていると考え、前進したと判断する。	A	B	C	D	E
進捗結果				○		
今後の取組に対する意見	アクションプラン8のとおり進めてください。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した				

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	「C前進した」と評価する。	A	B	C	D	E
進捗結果				○		
今後の取組に対する意見	・町民に対して公立病院があるという安心感を与えていることに重きを置くべきではないか。 ・町民が公立芽室病院で健康診断を受けるメリットがあると(健診を)受診しやすくなり、病院とのパイプが強くなり安心感につながるのではないか。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した				